

## 手話通訳にTV電話活用

### 明石市、窓口新サービス

明石市は、市役所などを訪れた聴覚障害を持つ市民が窓口の職員とスムーズに会話ができるよう、テレビ電話を活用して手話通訳するサービスの提供を始めると発表した。

市役所の窓口2カ所のほか、総合福祉センター、大久保、魚住、二見の各市民センターの窓口にそれぞれモニターを設置。手話通訳士の資格を持つ職員がテレビ電話システムを通じて手話通訳を行う。現在、対応可能な手話通訳士は1人だが、市では新たに2人の手話通訳士の採用を決めており、10月以降は3人態勢で対応にあたる。

また、手話でのコミュニケーションが困難な聴覚障害者には、タブレット端末を使って音声と文字を同時通訳するシステムも導入。市政情報の点字化や災害ハザードマップの点訳などもすすめる。

市は、関連事業費558万円を盛り込んだ補正予算案を4日開会の定例市議会に提案する。